

2020年度(令和2年度) 東京藝術大学美術学部 科目等履修生(一般) 募集要項

特定の研究目的をもって、本学部開設科目の履修を希望する者に対して、本要項の定めるところにより、選考のうえ履修を許可する。

1. 出願資格及び履修範囲

- (1) 高等学校卒業以上の学歴を有する者。
- (2) 前項と同等以上の学力があると大学が認めた者。
- (3) 履修できる科目は、別紙対象科目のうち、2単位以上12単位以内に限る。
- (4) 実技科目の履修は認めない。
- ※ 外国人志願者は、授業履修に支障のない日本語能力を有すること。

2. 募集人員 若 干 名

3. 選考方法 書類審査及び面接

4. 単位の認定 授業科目を履修し、所定の試験等を受け、合格した者には所定の単位を与える。 (同一科目・同一内容の単位再加算はしない。)

5. 履修期間 1年間 (2020年4月1日～2021年3月31日)

6. 出願方法等

① 出願方法	郵便受付のみ (大学に直接持参したものは受け付けない。)	
② 受付期間	2019年11月25日(月)～2019年12月11日(水) ※郵便局消印がこの期間内のものに限り受け付ける。	
③ 提出書類	(1) 科目等履修生願書	本学部所定の用紙(表面のみ記入)
	(2) 最終学校の卒業(修了)証明書	本学部出身者は不要。
	※(2-2) 戸籍抄本1通(コピー可)	※ 改姓して証明書と現在の氏名が異なる場合のみ提出。
	(3) 写真	願書の所定欄に貼付すること。
	(4) 小論文	履修希望科目ごとに受講の目的等を2,000字以内にまとめ、提出すること。 (A4サイズ of 用紙を使用し、科目名・氏名を記入すること。)
	(5) 入学試験検定料振込金受付証明書(C票)	「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出すること。 (「7. 検定料の納入について」を参照のこと)
	(6) 返信用封筒	角型2号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、140円切手を貼付すること。
④ 出願手続	受付期間内に、『美術学部科目等履修生願書在中』と朱書し、書留郵便で送ること。 【送付先】 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学 美術学部教務係	
⑤ 面 接	履修希望科目担当教員が、それぞれに定める面接日時(別紙参照)に各自集合のこと。	

7. 検定料の支払いについて

検 定 料 : 9,800円

振込期間 : 2019年11月25日(月)～2019年12月11日(水)

支払方法 : この要項に添付されている検定料振込依頼書を使用し、下記事項に従い、期間内に振り込むこと。

取扱金融機関	都市銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、農業協同組合、ゆうちょ銀行(郵便局) ※ゆうちょ銀行(郵便局)での振り込みは、ゆうちょ銀行の口座からのみ可能。 詳しくは振り込みを依頼する店舗に問い合わせのこと。
振込手数料	振込手数料は各自負担のこと。 ※三井住友銀行・本支店から振り込む場合は無料
< 注意 > ① ATMでの振り込みは不可。 金融機関窓口で振り込むこと。(営業時間に注意すること) ② 振り込みの際、金融機関から返却されるB票・C票のうち、C票(氏名記入、収納印のあるもの)を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出すること。(B票は本人控え)	

【注意事項】

・願書受付後はいかなる理由があっても、書類の変更・返却はしない。
また次の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

- ①検定料を振り込み出願したが、受理されなかった場合
- ②検定料を振り込んだが、出願に必要な書類を提出しなかった場合
- ③検定料を誤って二重に振り込んだ場合

< 上記①～③に該当した場合の返還請求の方法 >

本学所定の用紙「検定料返還請求願(研究生・科目等履修生用)」を本学入試情報サイトより

ダウンロードし、必要事項を記入、「C票」を添付して

東京藝術大学戦略企画課経理係 (〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8) まで郵送すること。

※大学から志願者への返還金額は、振込手数料を差し引いた金額となる。

※検定料振込時に発生した手数料は返還対象外である。

※「返還請求願」受領後、返還金の振り込みまで通常約2～3ヶ月を要する。

※返還請求願の提出期限は2020年3月31日(火)(消印有効)とする。期限までに提出がない場合、検定料は返還しない。

8. 履修の決定及び入学手続

履修の可否及び入学手続については、2020年3月上旬(予定)に大学から文書で通知する。

入学手続き	2020年3月下旬(予定)		
諸経費	入学手続時	入学料	28,200円(予定額)(入学手続き完了後は、入学料の返還はしない。)
	入学後 4月(予定)	授業料	1単位につき14,800円(予定額) (例:1科目2単位の場合/14,800円×2=29,600円)
※ その他の提出書類等、詳細については大学からの通知文で指示する。 ※ [上野校地] 教室の場所 及び 授業時間割 ・美術学部中央棟1・2階、総合工房棟B棟 ・1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:00～14:30 4限 14:40～16:10 5限 16:20～17:50 科目によっては、時間割等(曜日・時限・教室・テーマ)が変更となる場合があるので、入学後に必ず履修科目を再確認すること。 [授業期間] 前期:4月～7月 後期:10月～1月 学事暦の詳細については、入学手続の際に通知する。			

【注意事項】

- ・この募集要項発行後に諸経費が変更された場合は、変更後の額による。
- ・履修を許可された科目でも、事情により履修ができない場合は、履修生の申し出によりこれを取り消すことができる。
ただし、支払い済みの授業料等の返還はしない。

9. その他

- ・外国人については、履修が認められても在留資格(留学)には該当しない。
- ・学生旅客運賃割引制度(学割)は適用されない。
- ・単位修得者で証明書を必要とする者には、単位修得成績証明書を交付する。
本人からの申請により、成績発表日以降に交付する。

以 上

【美術学部科目等履修生募集に関する問合せ先】
東京藝術大学 美術学部教務係
TEL: 050-5525-2124
email: bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp

2020年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋建築史Ⅰ	担当教員	野口 昌夫	学期	前期												
古代ギリシャ、ローマの壮大な建築の規準となっていたオーダーがルネッサンス期以降になって再び力強く継承され 古典建築の言語体系が再構築されていく過程をバロック期まで見届ける。 一方、キリスト教聖堂建築の流れとして、初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスクまでを概説する。																	
<table><tr><td>1 西洋建築史を学ぶにあたって</td><td>7 古代ローマ建築:ヴィラ・アドリアーナ</td></tr><tr><td>2 古代ギリシャ建築:神殿とオーダー</td><td>8 初期キリスト教建築:概説</td></tr><tr><td>3 古代ギリシャ建築:アゴラの構成</td><td>9 初期キリスト教建築:ラヴェンナの聖堂</td></tr><tr><td>4 古代ギリシャ建築:都市計画</td><td>10 ビザンティン建築:概説</td></tr><tr><td>5 古代ローマ建築:概説</td><td>11 ビザンティン建築:ハギア・ソフィア</td></tr><tr><td>6 古代ローマ建築:パンテオンとコロセウム</td><td>12 プレ・ロマネスク建築:概説</td></tr></table>						1 西洋建築史を学ぶにあたって	7 古代ローマ建築:ヴィラ・アドリアーナ	2 古代ギリシャ建築:神殿とオーダー	8 初期キリスト教建築:概説	3 古代ギリシャ建築:アゴラの構成	9 初期キリスト教建築:ラヴェンナの聖堂	4 古代ギリシャ建築:都市計画	10 ビザンティン建築:概説	5 古代ローマ建築:概説	11 ビザンティン建築:ハギア・ソフィア	6 古代ローマ建築:パンテオンとコロセウム	12 プレ・ロマネスク建築:概説
1 西洋建築史を学ぶにあたって	7 古代ローマ建築:ヴィラ・アドリアーナ																
2 古代ギリシャ建築:神殿とオーダー	8 初期キリスト教建築:概説																
3 古代ギリシャ建築:アゴラの構成	9 初期キリスト教建築:ラヴェンナの聖堂																
4 古代ギリシャ建築:都市計画	10 ビザンティン建築:概説																
5 古代ローマ建築:概説	11 ビザンティン建築:ハギア・ソフィア																
6 古代ローマ建築:パンテオンとコロセウム	12 プレ・ロマネスク建築:概説																
※参考図書:『西洋建築史図表』(日本建築学会編 彰国社) ※「西洋建築史Ⅰ」と「西洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること																	

科目名	西洋建築史Ⅱ	担当教員	野口 昌夫	学期	後期												
1000年以降のロマネスク、ゴシックに至る過程を追う。後期のルネサンス建築以降は、その主流をなすイタリア建築に重点を置き、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロッツォから、ブラマンテ、ミケランジェロを経て、マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ、そしてバロック期のボロミーニ、ベルニーニ、ガッリーニにいたる作品を概説する。																	
<table><tr><td>1 ロマネスク建築:概説</td><td>7 ルネサンス建築:盛期ルネサンス</td></tr><tr><td>2 ロマネスク建築:イタリアのロマネスク聖堂</td><td>8 マニエリスム:アンドレア・パラディオ</td></tr><tr><td>3 ゴシック建築:概説</td><td>9 マニエリスム:ジュリオ・ロマーノ</td></tr><tr><td>4 ゴシック建築:フランスのゴシック聖堂</td><td>10 バロック建築:フランチェスコ・ボロミーニ</td></tr><tr><td>5 ゴシック建築:イタリアのゴシック聖堂</td><td>11 バロック建築:ジャンロレンツォ・ベルニーニ</td></tr><tr><td>6 ルネサンス建築:初期ルネサンス</td><td>12 バロック建築:ガッリーノ・ガッリーニ</td></tr></table>						1 ロマネスク建築:概説	7 ルネサンス建築:盛期ルネサンス	2 ロマネスク建築:イタリアのロマネスク聖堂	8 マニエリスム:アンドレア・パラディオ	3 ゴシック建築:概説	9 マニエリスム:ジュリオ・ロマーノ	4 ゴシック建築:フランスのゴシック聖堂	10 バロック建築:フランチェスコ・ボロミーニ	5 ゴシック建築:イタリアのゴシック聖堂	11 バロック建築:ジャンロレンツォ・ベルニーニ	6 ルネサンス建築:初期ルネサンス	12 バロック建築:ガッリーノ・ガッリーニ
1 ロマネスク建築:概説	7 ルネサンス建築:盛期ルネサンス																
2 ロマネスク建築:イタリアのロマネスク聖堂	8 マニエリスム:アンドレア・パラディオ																
3 ゴシック建築:概説	9 マニエリスム:ジュリオ・ロマーノ																
4 ゴシック建築:フランスのゴシック聖堂	10 バロック建築:フランチェスコ・ボロミーニ																
5 ゴシック建築:イタリアのゴシック聖堂	11 バロック建築:ジャンロレンツォ・ベルニーニ																
6 ルネサンス建築:初期ルネサンス	12 バロック建築:ガッリーノ・ガッリーニ																
※参考図書:『西洋建築史図表』(日本建築学会編 彰国社)																	
※「西洋建築史Ⅰ」と「西洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること																	

2020年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	日本・東洋建築史Ⅰ	担当教員	光井 渉	学期	前期														
「日本・東洋建築史」は、日本列島で展開した建築と都市・集落について概観するもので、前期開講のⅠでは主に中世以前の宗教建築と都市について扱います。 講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、代表的な建築作品等の紹介を通じて多種多様な建築の形の意味とその背景にある技術の在り方を考えていきます。 各回のテーマは下記のものを予定しますが、進行状況に応じて適宜変更する可能性があります。 <table border="0"> <tr> <td>1 日本の建築(ガイダンス)</td> <td>7 都市住宅の形(御所と寝殿造)</td> </tr> <tr> <td>2 建築の誕生(原始住居の住居)</td> <td>8 和様の感覚(平安時代の建築)</td> </tr> <tr> <td>3 美意識の誕生(神社建築の形式)</td> <td>9 災害と復興(大仏様)</td> </tr> <tr> <td>4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)</td> <td>10 禅宗の建築(禅宗様)</td> </tr> <tr> <td>5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺院2)</td> <td>11 中世的世界の建築(密教建築)</td> </tr> <tr> <td>6 都市の誕生(平城京と平安京)</td> <td>12 上野台地に残る歴史的建築</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13 試験</td> </tr> </table> ※教材(講義中に使用):光井渉・太記祐一『カラー版 建築と都市の歴史』(井上書院) を毎回の講義で使用するので、必ず入手して持参すること ※参考図書:光井渉『日本の伝統木造建築』(市ヶ谷出版社) ※「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること						1 日本の建築(ガイダンス)	7 都市住宅の形(御所と寝殿造)	2 建築の誕生(原始住居の住居)	8 和様の感覚(平安時代の建築)	3 美意識の誕生(神社建築の形式)	9 災害と復興(大仏様)	4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)	10 禅宗の建築(禅宗様)	5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺院2)	11 中世的世界の建築(密教建築)	6 都市の誕生(平城京と平安京)	12 上野台地に残る歴史的建築		13 試験
1 日本の建築(ガイダンス)	7 都市住宅の形(御所と寝殿造)																		
2 建築の誕生(原始住居の住居)	8 和様の感覚(平安時代の建築)																		
3 美意識の誕生(神社建築の形式)	9 災害と復興(大仏様)																		
4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)	10 禅宗の建築(禅宗様)																		
5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺院2)	11 中世的世界の建築(密教建築)																		
6 都市の誕生(平城京と平安京)	12 上野台地に残る歴史的建築																		
	13 試験																		

科目名	日本・東洋建築史Ⅱ	担当教員	光井 渉	学 期	後 期														
「日本・東洋建築史」は、日本列島で展開した建築と都市・集落について概観するもので、後期開講のⅡでは主に中世以後の住宅建築と都市・集落、庶民住居について扱います。 講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景とともに代表的な建築作品等を紹介し、現代の生活空間に継承されている多種多様な建築の形の意味を考えていきます。 各回のテーマは下記のものを予定しますが、進行状況に応じて適宜変更する可能性があります。 <table border="0"> <tr> <td>1 舗設から部屋へ(中世住宅)</td> <td>7 現代都市の起源(城下町)</td> </tr> <tr> <td>2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)</td> <td>8 町に暮らす(町並と町家)</td> </tr> <tr> <td>3 綺麗と数寄(茶室)</td> <td>9 村に暮らす(農村と農家)</td> </tr> <tr> <td>4 近世住宅の完成(数寄屋)</td> <td>10 専用住居の誕生(武家住宅)</td> </tr> <tr> <td>5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)</td> <td>11 賑わいの空間(近世寺社境内)</td> </tr> <tr> <td>6 権力の象徴(城郭建築)</td> <td>12 芸大周辺の歴史的建築見学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13 試験</td> </tr> </table> ※教材(講義中に使用):光井渉・太記祐一『カラー版 建築と都市の歴史』(井上書院) を毎回の講義で使用するので、必ず入手して持参すること ※参考図書:光井渉『日本の伝統木造建築』(市ヶ谷出版社) ※「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること						1 舗設から部屋へ(中世住宅)	7 現代都市の起源(城下町)	2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)	8 町に暮らす(町並と町家)	3 綺麗と数寄(茶室)	9 村に暮らす(農村と農家)	4 近世住宅の完成(数寄屋)	10 専用住居の誕生(武家住宅)	5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)	11 賑わいの空間(近世寺社境内)	6 権力の象徴(城郭建築)	12 芸大周辺の歴史的建築見学		13 試験
1 舗設から部屋へ(中世住宅)	7 現代都市の起源(城下町)																		
2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)	8 町に暮らす(町並と町家)																		
3 綺麗と数寄(茶室)	9 村に暮らす(農村と農家)																		
4 近世住宅の完成(数寄屋)	10 専用住居の誕生(武家住宅)																		
5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)	11 賑わいの空間(近世寺社境内)																		
6 権力の象徴(城郭建築)	12 芸大周辺の歴史的建築見学																		
	13 試験																		

2020年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	建築概論Ⅰ	担当教員	中山 英之	学期	前期
前半／建築設計を組み立てていく思考の多様性を、いろいろな角度から考えていきます。 後半／ 学生が建築をめぐる議論を広く知り、議論を行うことができるように解説を行います。 前半／中山 英之 1 インTRODクシヨシ 2 絵画と建築 3 写真と建築 4 映画と建築 5 ファツシヨシと建築 6 童話や文学と建築 7 音楽や映像と建築 8 プロダクトデザインと建築 (順番や内容は変動します) 後半／藤村 龍至 9 意匠と建築 10 設計プロセスと建築 11 作家性と建築 12 社会と建築 13 技術と建築 14 思想と建築 15 建築家とはなにか					

科目名	建築概論Ⅱ	担当教員	櫻村 英実	学期	後期
日本・海外の建築を広く扱い、気候や文化的背景の異なる多様な建築を概観します。 建築と人との関わりをひも解き、その知恵やアイデアを明らかにする中で、「建築とは何か」を考えます。 1 INTRODUCTION／建築とそのはじまり 2 暑さと建築 3 寒さと建築 4 小ささと建築 5 大きさと建築 6 集団と建築 7 暗さ/明るさと建築 8 重さ/軽さと建築 9 貧しさ/豊かさと建築 10 古さ/新しさと建築 11 神聖さと建築 12 地形と建築 13 発表					

科目名	美学史概説Ⅰ	担当教員	川瀬 智之	学期	前期
この授業では、西洋における美学の歴史を、古代ギリシアから近現代のドイツ・フランスに至る代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。場合によっては、それらの思想と、特に近現代の芸術作品との関連についても論じる。それによって、西洋の古代以来の思想が、いかに芸術の制作や鑑賞に対して影響を及ぼしてきたかを理解することができる。具体的な計画は以下のとおり。 1. INTRODUCTION 2. プラトン 3. アリストテレス 4. プロティノス 5. レッシング 6. ゲーテ 7. カント 8. シェリング 9. ヘーゲル 10. エマソン 11. ボードレー 12. ニーチェ 13. フィードラー 14. リルケ、ベルクソン 15. ハイデッガー					

2020年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	美学史概説Ⅱ	担当教員	川瀬 智之	学期	後期
この授業では、西洋と日本における美学の歴史を、近現代のドイツ・フランスから現代日本に至る代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。場合によっては、それらの思想と、芸術作品との関連についても論じる。それによって、西洋と日本の美学思想が、いかに具体的な芸術制作や鑑賞と関連を持っているかについて理解することができる。具体的な計画は以下のとおり。 1. ベルクソン、バゼーヌ 2. アラン 3. マリタン 4. バシュラール 5. ベンヤミン 6. サルトル 7. メルロ＝ポンティ 8. デュフレンヌ 9. マルディネ 10. アンリ 11. ダントー、ディッキー 12. 鈴木大拙 13. 唐木順三 14. 今道友信 15. 桑原武夫、鶴見俊輔					

科目名	日本美術史特講Ⅰ	担当教員	佐藤 道信	学期	前期
「巨匠」と「名品」の形成 巨匠と名品は、どのように創られたのか。近現代の日本の時代的文脈と志向性から、その形成を読み解きたいと思います。 前期(特講Ⅰ)は、近現代日本の作品、作家について見てみます。 第1～3回 「日本画とは何か」論 第4, 5回 「工芸とは何か」論 第6回 「国画」と「日本画」 第7, 8回 国民的作家 第9, 10回 皇室技芸員、帝国美術院会員 第11, 12回 文化勲章、文化功労者 第13～15回 人間国宝、現代の名工					

科目名	日本美術史特講Ⅱ	担当教員	佐藤 道信	学期	後期
「巨匠」と「名品」の形成 巨匠と名品は、どのように創られたのか。近現代の日本の時代的文脈と志向性から、その形成を読み解きたいと思います。 後期(特講Ⅱ)は、美術史上の作品、作家について見てみます。 第1～4回 「日本美術史」 第5, 6回 「国宝」「重要美術品」 第7, 8回 文化財 第9, 10回 浮世絵 第11～13回 「近代日本美術史」 第14, 15回 世界遺産					

2020年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋美術史概説Ⅰ	担当教員	田辺 幹之助	学 期	前 期
中世の前半、およそ4世紀から10世紀のヨーロッパの美術史を概観します。 古代帝国が崩壊し、新たな美術の思想的背景としてキリスト教が浮かび上がり、また新たな美術の担い手として非地中海的な、北方の諸民族が登場することで、古代の何が継承され、何が加えられ、どのような変容がもたらされたのかを、具体的な作品を取り上げながら解説してゆきます。取り扱うのは、古代末期の初期キリスト教時代、ビザンチン、プレ・カロリング、インスラー、カロリング朝の美術です。					

科目名	西洋美術史概説Ⅲ	担当教員	佐藤 直樹	学 期	後 期
ルネサンス以降、19世紀までの美術を各回ごとに1人の作家に絞り、その造形原理を学ぶ。					

科目名	美術解剖学 人とかたち(前期)	担当教員	宮永 美知代	学 期	前 期
人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。 美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。 ※ 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。 ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。					

科目名	美術解剖学 人とかたち(後期)	担当教員	宮永 美知代	学 期	後 期
人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。 美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。 ※ 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。 ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。					

科目名	デザイン概説Ⅰ	担当教員	藤崎 圭一郎	学 期	前 期
21世紀のデザイン、エシカル(倫理的)とクリティカル(批評的)という2つの軸から現代において「デザイン」とは何かを考える。					

科目名	デザイン概説Ⅱ	担当教員	藤崎 圭一郎	学 期	後 期
19～21世紀デザイン史をもとに、「近代」とは何かを考える。					

対象科目及び面接日時等

科 目 等						面 接	
授 業 科 目 名	期 間	担当教員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所
西洋建築史Ⅰ	前期	野口 昌夫	月	3	2	1月10日(金) 16:30～	野口研究室
							総合工房棟 4階 B-410 室
西洋建築史Ⅱ	後期	野口 昌夫	月	3	2	1月10日(金) 16:30～	野口研究室
							総合工房棟 4階 B-410 室
日本・東洋建築史Ⅰ	前期	光井 渉	金	3	2	1月10日(金) 10:00～	光井研究室
							総合工房棟 4階 B-412 室
日本・東洋建築史Ⅱ	後期	光井 渉	金	3	2	1月10日(金) 10:00～	光井研究室
							総合工房棟 4階 B-412 室
建築概論Ⅰ	前期	中山 英之	金	2	2	1月9日(木) 17:00～	中山研究室
							総合工房棟 4階 B-423 室
建築概論Ⅱ	後期	樫村 芙実	金	2	2	1月9日(木) 17:00～	中山研究室
							総合工房棟 4階 B-423 室
美学史概説Ⅰ	前期	川瀬 智之	金	4	2	1月10日(金) 14:00～	芸術学科美学研究室
							中央棟 3 階
美学史概説Ⅱ	後期	川瀬 智之	金	4	2	1月10日(金) 14:00～	芸術学科美学研究室
							中央棟 3 階
日本美術史特講Ⅰ	前期	佐藤 道信	火	3	2	1月15日(水) 13:00～	芸術学科会議室
							中央棟 3 階
日本美術史特講Ⅱ	後期	佐藤 道信	火	3	2	1月15日(水) 13:00～	芸術学科会議室
							中央棟 3 階

対象科目及び面接日時等

科 目 等						面 接	
授 業 科 目 名	期 間	担当教員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所
西洋美術史概説Ⅰ	前期	田辺 幹之助	火	3	2	1月8日(水) 18:00～	芸術学科事務室
							中央棟3階
西洋美術史概説Ⅲ	後期	佐藤 直樹	火	3	2	1月8日(水) 18:00～	芸術学科事務室
							中央棟3階
美術解剖学 人とかたち (前期)	前期	宮永 美知代	水	3	2	1月10日(金) 14:00～	美術教育会議室
							中央棟地下1階
美術解剖学 人とかたち (後期)	後期	宮永 美知代	水	3	2	1月10日(金) 14:00～	美術教育会議室
							中央棟地下1階
デザイン概説Ⅰ	前期	藤崎 圭一郎	金	4	2	出願者には別途連絡します。	
デザイン概説Ⅱ	後期	藤崎 圭一郎	金	4	2	出願者には別途連絡します。	

《面接について》

※願書提出後、上記の指定日時に面接を必ず受けてください。

(出願者が多い場合、お待ちいただくことがありますので、あらかじめご承知願います。)

※面接を受けない場合は失格となります。その場合、納入済の検定料は返却しません。

＜授業時間割＞	1時限	9:00～10:30
	2時限	10:40～12:10
	3時限	13:00～14:30
	4時限	14:40～16:10
	5時限	16:20～17:50

【所在地・交通案内】

上野校地

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



交通機関

【 J R 】 上野駅・鶯谷駅 …下車徒歩10分

【東京メトロ】 銀座線・日比谷線 …上野駅下車徒歩15分、千代田線 …根津駅下車徒歩10分

【京成電鉄】 京成上野駅 …下車徒歩15分



- ① 絵画棟
- ② 彫刻棟
- ③ 金工棟
- ④ 総合工房棟(A棟)
- ⑤ 総合工房棟(B棟)
- ⑥ 総合工房棟(C棟)
- ⑦ 中央棟
- ⑧ 国際芸術リソースセンターA棟
- ⑩ 国際芸術リソースセンターB棟
- ⑪ 陳列館
- ⑫ 正木記念館
- ⑬ 大学美術館
- ⑭ 守衛所

上野公園

2020年度東京藝術大学美術学部
科目等履修生(一般)願書

フリガナ				男・女		
氏 名						
生年月日	西暦 昭和・平成	年	月		日 (満 歳)	
本 籍 (都道府県・国名のみ)						
現住所 (連絡先)	〒 ー					
電話番号		e-mail				
略 歴						
※本学出身者は 在学時の学生番号を記入	学部		修士		博士	
学 歴 (高校卒業から)	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
職 歴	年 月					
	年 月					
	年 月					
賞 罰						

【写真貼付】

- ・タテ4cm×ヨコ3cm
- ・脱帽上半身正面向
- ・出願前3ヶ月以内に撮影したもの

履修希望科目							※大学記入欄
科 目 名	期間	曜日	時限	担当教員名	単位数	備考	判 定
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						

※ 該当する期間に ☒ を記入してください。

以上の記載事項のとおり相違ありません。

年 月 日 氏 名 : _____ ㊟

※ 志願者は、下記の金額を締切日までに必ず振り込み、C票は所定の提出用紙に貼付し、他の書類と共に東京藝術大学へ郵送のこと。

検定料振込依頼書[2020美術・科目等履修生(一般)]

切り離して、金融機関に提出してください。

A票		B票		C票	
振込依頼書		振込金受取書		「東京藝術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書	
金融機関取扱期間 2019年11月26日(月)～2019年12月11日(水)		「東京藝術大学」入学試験検定料)		「東京藝術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書	
ご依頼年 三井住友銀行 普通 預金種目 (フリガナ) トウキョウゲイ (おなまえ) 国立大学法人 東京芸術大学		この用紙はホームページ掲載用の見本です。 この見本は使用せず、必ず検定料振込依頼書の原本を入手してください。 原本は、募集要項の原本(紙媒体)に含まれています。 ※募集要項の原本を入手する方法については、本学入試情報サイトから 以下のURLをご確認ください。 http://admissions.geidai.ac.jp/data/request/		寄・科目等履修生(一般) 百万 千 円 ¥ 9 8 0 0 三井住友銀行 東京公務部 東京芸術大学 (フリガナ)	
依頼人 (志願者)		納印		収入印紙	
整理番号 (フリガナ)		納印		納印	
(おとこ) (電話)		(志願者保管)		(願書同封用)	

※【取扱金融機関へお願い】

- 5桁の整理番号は、氏名頭部へ連続して打電して下さい。
- 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印して下さい。
- B・C票は、必ず依頼人へお返し下さい。
- 三井住友銀行本文店にて振り込む場合の振込手数料は無料となります。(ATM等は不可です。)

(取扱金融機関保管)

(志願者保管)

入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙

(2020年度 美術学部 科目等履修生(一般))

No		← 大学記入欄
フリガナ		
氏 名		
自宅電話番号	()	
携帯電話番号	()	
メールアドレス	@	

※赤枠内を必ず記入のこと。

金融機関窓口で振込をした後、返却されたC票を
右の『C票貼付箇所』に貼付すること。

※ C票に銀行の収納印が押印されていることを
必ず確認すること。

押印がない場合は、出願を受け付けない。

C 票貼付箇所

※はがれないようにしっかり
糊付けすること。

※銀行の収納印が押印されて
いることを確認すること。